



# NIMS eSciDocにおける研究者総覧サービスと 機関リポジトリの統合的展開

高久雅生, 谷藤幹子 (物質・材料研究機構)

## NIMS eSciDoc Project

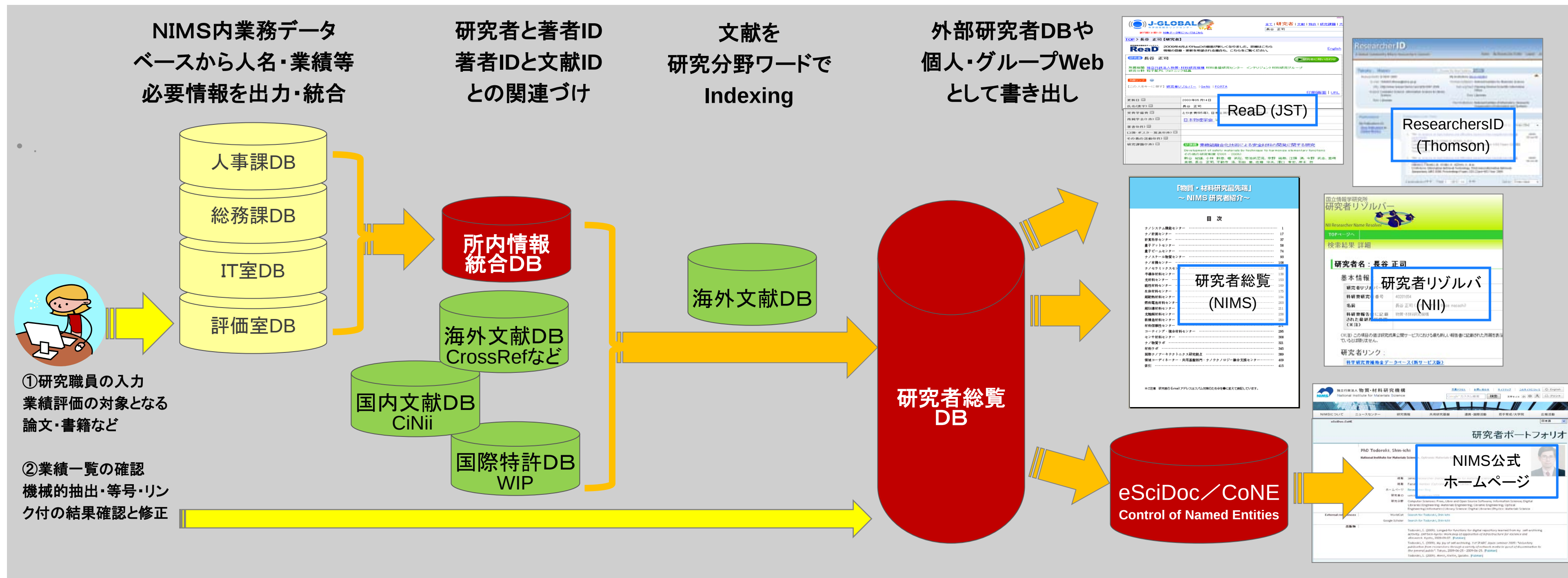
独立行政法人 物質・材料研究機構(つくば市)は日本の材料研究の中核的機関として、包括的な研究情報資源として、また研究者自らの成果発信を可能とする流通基盤として、デジタルライブラリーシステムの開発を進めています。(1)多種類の成果を包括的に保存、(2)発信と利用状況の把握、(3)機関研究者の総覧としての書き出しや、研究グループWebあるいは研究プロジェクトの成果Webとしての書き出しを可能とするシステムです。

研究成果の最終形である論文や特許などの公刊物を出版社に代わって保存するリポジトリ機能ではなく、それら公刊物を関連成果物が補完し、研究領域全体の情報をつなぐことで、成果が体系的に見えること、それがイノベーションにつながるきっかけとなりうるようなe-Science環境・・・が究極の目標です。

## 研究者総覧を軸とした機関リポジトリの展開：論文著者IDと研究者IDのマッピング

ワンストップサービス:業績の申請登録から >> NIMSライブラリ保存 >> 多様な形式や外部データベース書き出しまで。

- 発表論文や学会発表、書籍執筆など、研究業績として申請するNIMS内部の業務データベースと、研究情報資源(ライブラリー)としての保存、そしてホームページや外部データベース等への書き出しまでを、一つのワークフローに載せることを目指しています。
- 材料研究に関する動向や政策、あるいは外部資金やベンチマーキングなど研究環境をとりまく資料の保存・共有・発信に役立てることが目的です。



- 登録する人は、研究職・エンジニア職・事務職など職種を問わず機関に所属する職員を対象
- ライブラリー登録時に①一般公開、②機関内共有、③個人限定を設定可能。(エンバゴによる公開期限設定も可能)
- 従来に紙媒体で保存してきた図書資料について、選択的に電子化(スキャン・OCR-メタデータ+全文インデキシング)し、共有化することを予定しています。

## その他の機能 >> 研究者自身による保存から発信、機関の研究者総覧から外部データベース連携まで

### 研究成果の保存(文書系)

Home - 一時保存 (0)

PubMan 3.0.0 - eSciDoc 2.0.0 開発者/バージョン

PubMan 3.0.0 - eSciDoc 2.0.0 開発者/バージョン

PubMan 3.0.0 - eSciDoc 2.0.0 開発者/バージョン

### 研究成果の保存(画像系)

Image Upload

実験データのメタデータスキーマの設定、検索が可能です

### 保存した成果の履歴管理

History Management

発表成果の版管理や、翻訳版との関連づけ機能等によって成果の全体系を一覧することができます

### 保存した成果の発信追跡

Publication Tracking

アイテム単位・研究者単位・機関単位で、誰がどこから何を閲覧したかなどを見ることができます

### 発信の柔軟性(DL→CoNE→Blog)

Researcher Page

Archive for July, 2009

Categories

Archives

### 研究者総覧(内部DB→DL→Web)

Researcher Profile

PHD Todoroki, Shin-ichi

National Institute for Materials Science

## http://eSciDoc.jp・・・日本のプラットフォーム

研究プロジェクトや研究領域単位のライブラリコレクションを自在に立ち上げるニーズに応えた試みです。

### 開発チーム

物質・材料研究機構 科学情報室, 谷藤幹子・高久雅生  
Max Planck Digital Library, Malte Dreyer, Ulla Tschida, ほか